

# デジタルマップナビシステム

## 取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

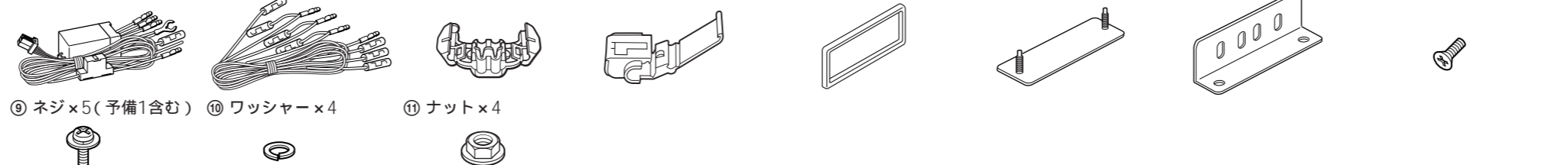
取り付けはお買上げ店に依頼する  
本機取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。



## 取り付け/接続部品

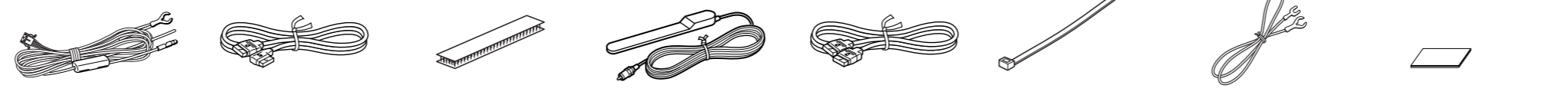
### 地図ディスクプレーヤー用

- ① 電源ケーブル×1
- ② 電源延長コード×1
- ③ 圧着式コネクタ(赤)×2
- ④ 圧着式コネクタ(ピンク)×2
- ⑤ 日産用プレート×1
- ⑥ 取り付け金具×2
- ⑦ 取り付け金具×2
- ⑧ 皿ネジ×5(予備1含む)



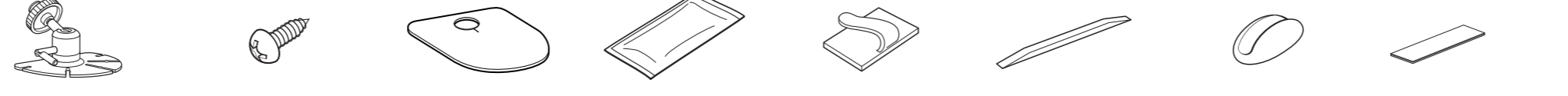
### TVチューナーユニット用

- ⑨ 電源ケーブル×1
- ⑩ ナビ接続コード×1
- ⑪ マジックテープ×2
- ⑫ FMTトランスミッターアンテナ×1
- ⑬ モニター接続コード×1
- ⑭ コードクランパー×1
- ⑮ アースコード×1
- ⑯ 両面テープ×2



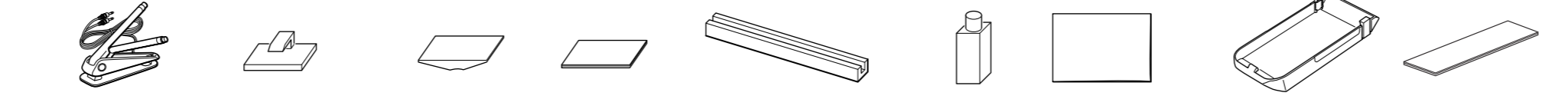
### モニター用

- ⑰ スタンド×1
- ⑱ 固定用ネジ×3
- ⑲ スタンドカバー×1
- ⑳ クリーニングクロス×1
- ㉑ コードクランパー×3
- ㉒ クッション×1
- ㉓ コードクランパー×5
- ㉔ 両面テープ×1



### TVアンテナ接続部品

- ㉕ TVアンテナ(左1, 右1)
- ㉖ コードクランパー×6
- ㉗ 防水ゴム×2
- ㉘ 両面テープ×2
- ㉙ コードガイドレール×2
- ㉚ クリーナー液×1
- ㉛ 不織布×1



### VICS対応FM多重ユニット用

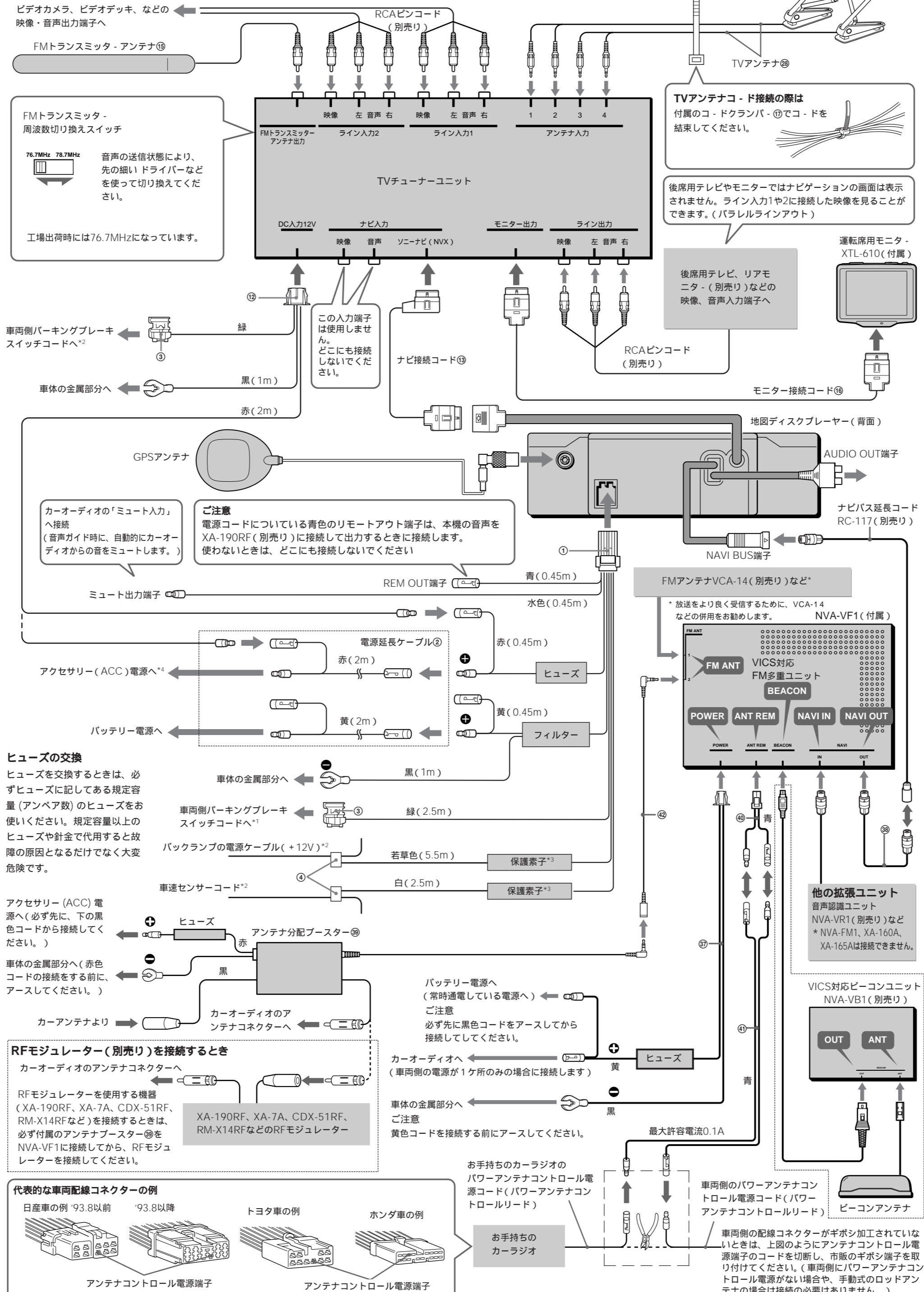
- ㉜ 電源ケーブル×1
- ㉝ NAVI BUSケーブル(1.5m)×1
- ㉞ アンテナ分配プースター×1
- ㉟ アンテナREMコード×1
- ㊱ アンテナREM延長コード(5m)×1
- ㊲ アンテナ延長コード(5.5m)×1
- ㊳ マジックテープ×2
- ㊴ アンテナプースター固定用クッション×1



## 接続

### ショート事故を防ぐために

作業中のショート事故防止のため、電源コード(赤色コードと黄色コード)の接続は、接続作業の最後に行うか、バッテリーのマイナス端子をはずしてから行うようにしてください。(ただし、ドライコンピューターやカーオーディオが取り付けられている車では、バッテリーのマイナス端子をはずすと、コンピューターやカーオーディオのメモリーの内容がすべて消える場合がありますのでご注意ください。)

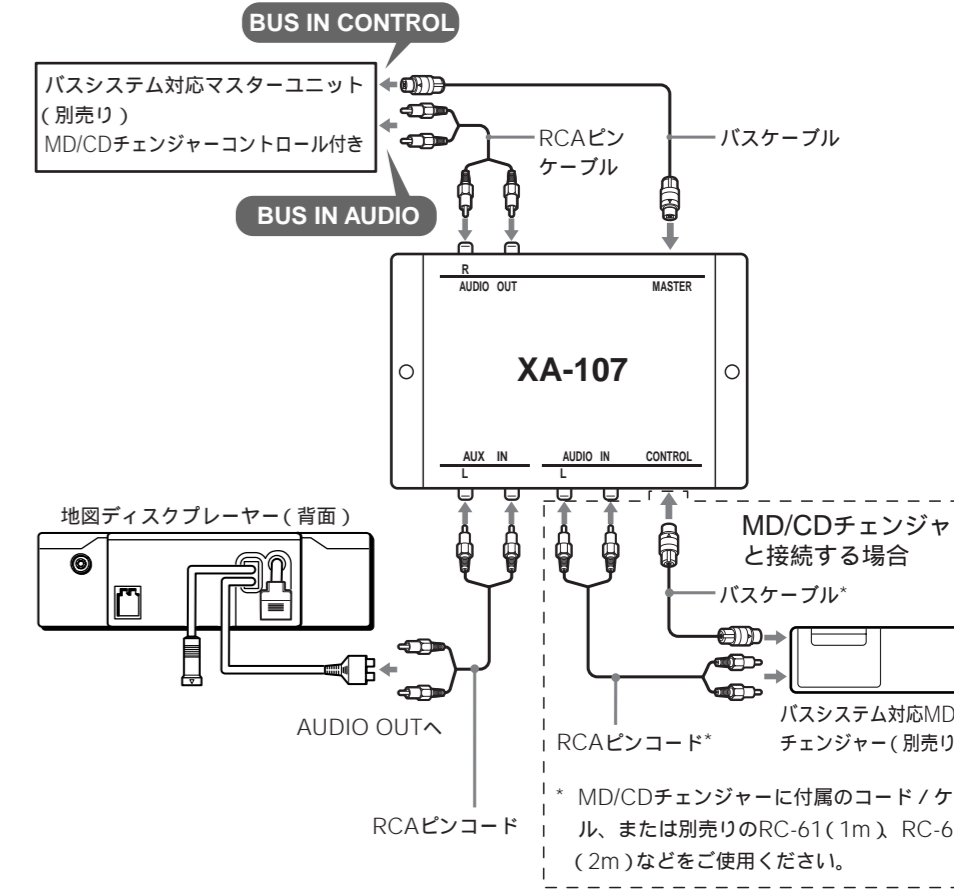


### ご注意

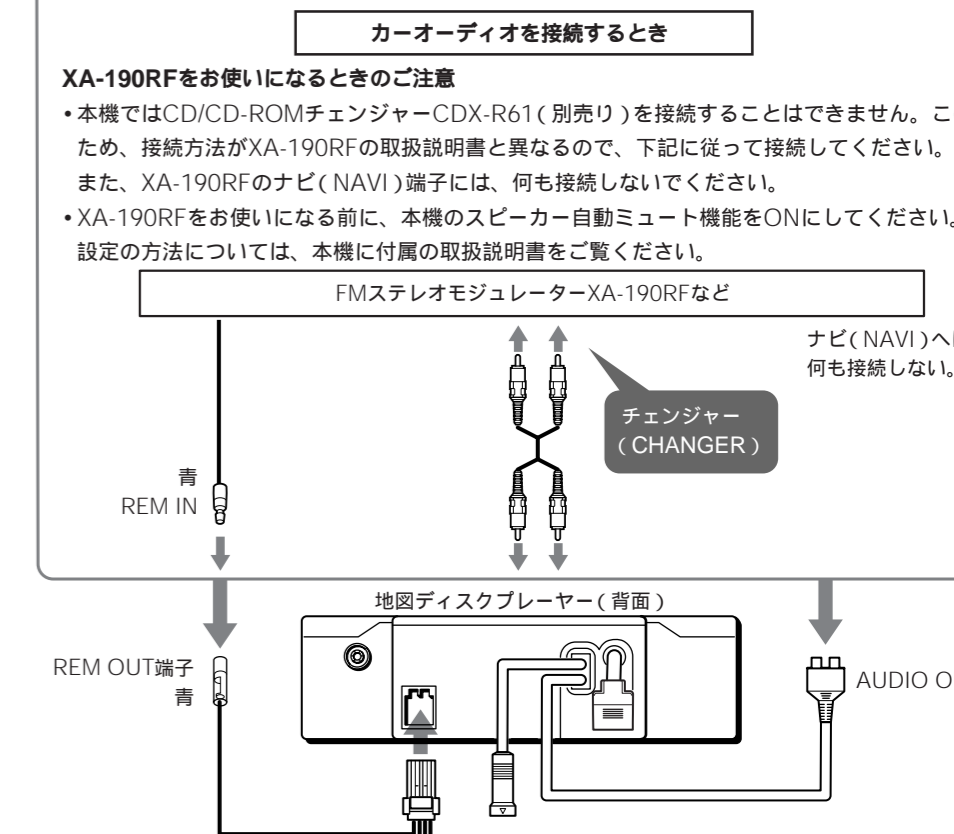
- 地図ディスクプレーヤーとTVチューナーユニットは、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出る場合があります。
- TVアンテナはFM/AMアンテナから離し取り付けしてください。
- ATISユニットXA-160A/165Aは接続できません。

## カーオーディオと接続する(本機で音楽用CDを再生する場合)

ソニーのカーオーディオの場合  
本機をソニーのカーオーディオ(マスターユニット)と接続するときは、ソースセレクターXA-107(別売り)を使います。



他社のカーオーディオの場合  
本機を他社のカーオーディオに接続するときは、FMステレオモジュレーターXA-190RF(別売り)を使います。



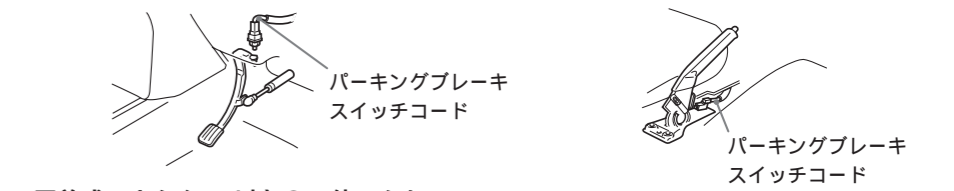
## 車速センサーコード/バックランプの電源ケーブルの接続について

自律センサー用の白色コードを車速センサーコードに接続しないと正確な測位できません。また、バックランプの電源ケーブルを接続しないと、車後退時の誤差が生じます。車速センサーコードおよびバックランプの電源ケーブルの位置は車種によって異なりますので、必ずお買上げ店にご相談ください。

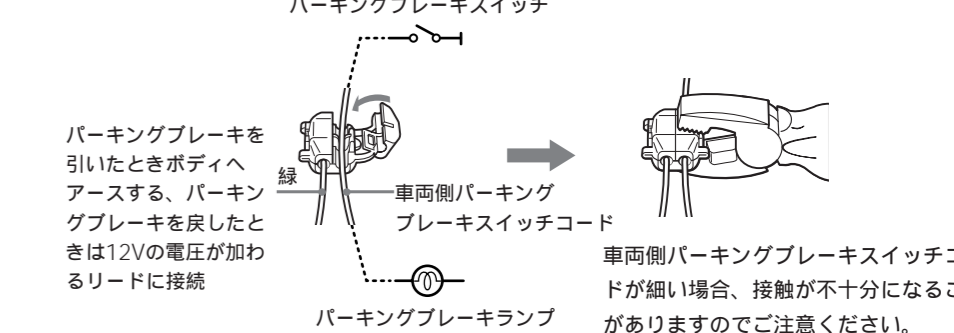
- ### 圧着式コネクタ(ピンク)④の使いかた
- 1 圧着式コネクタ④から、金具を取りはずす。
  - 2 センサーボックスの白色コードと車両側の車速センサーコードをコネクタにとどす。  
(バックランプの電源ケーブル) シフトレバーをR(バック)の位置に入れたときに12Vの電圧が加わるリードに接続してください。
  - 3 手順1ではずした金具を取り付ける。
  - 4 ふたをする。

## パーキングブレーキスイッチコードの接続について

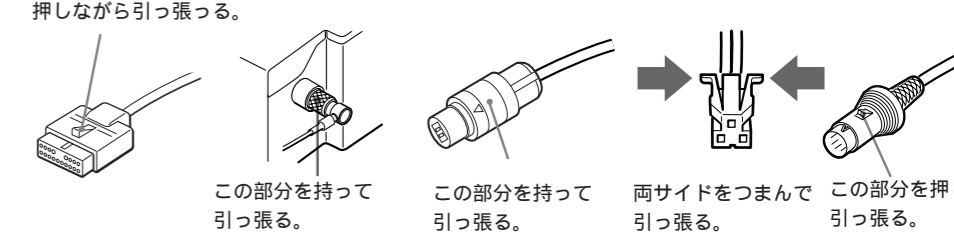
パーキングブレーキスイッチコードの位置は車種によって異なります。下図は代表的な例ですが、くわしくはお買上げ店にご相談ください。



- ### 圧着式コネクタ(赤)⑤の使いかた
- 1 電源コードのパーキングコード(緑色)の先端に圧着式コネクタ⑤を取り付ける。  
突起部分
  - 2 圧着式コネクタを車両側パーキングブレーキスイッチコードの適当な位置に取り付ける。  
パーキングブレーキスイッチ



## コネクタのはずしかた



## 警告 安全のために

**警告表示の意味**  
「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

**警告** 火災 感電  
下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース専用です  
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす  
マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。

前方の視界を妨げる場所に取り付けない  
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け  
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に動かし、けがの原因となります。

運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け  
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない  
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

分解や改造をしない  
火災や感電、事故の原因となります。

規定容量のヒューズを使う  
ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

分解禁止

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

安定した場所に取り付ける  
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付け  
歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

付属の部品で正しく取り付け  
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

アンテナは確実に両面テープで固定する  
車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

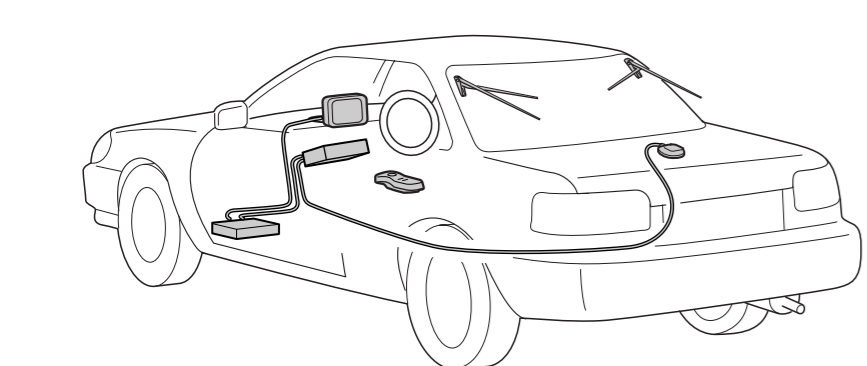
分解禁止

分解禁止

分解禁止

## 取り付けの前に

設置しようとする場所に置いてみて、操作のしやすさを確認してください。



- ご注意**
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
    - ・高温なところ。
    - ・直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

## 地図ディスクプレーヤーの取り付け

### センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

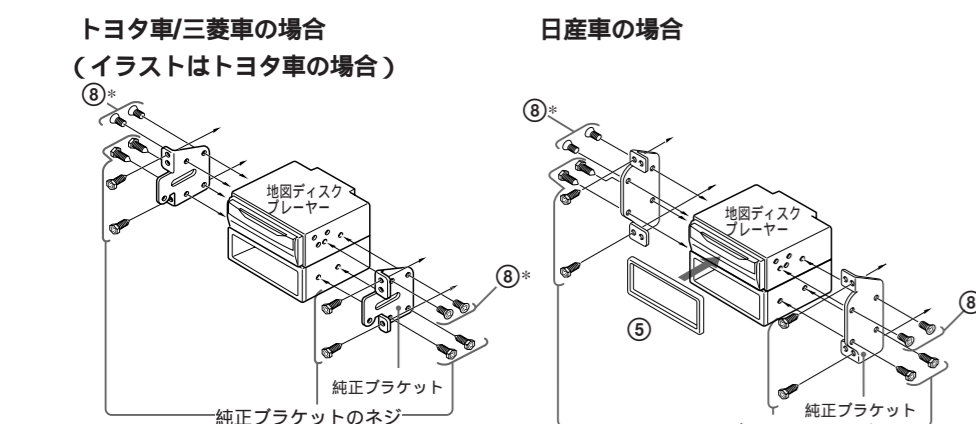
トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオをはずして、そのあとに本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。お車が上記以外の場合は、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。取り付けの際は、水平20°以内に貼り付けてください。

#### 1 純正カーオーディオを取りはずす。

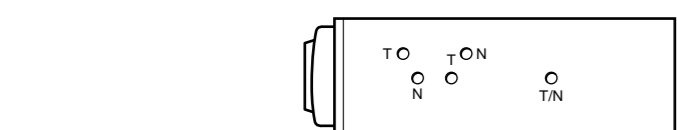
センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取りはずし、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

#### 2 本機を取り付ける。

接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。



- ご注意**
- ・本機のフロントパネルの表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
  - ・本機の上部に物をささみ込まないでください。
  - ・純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT(トヨタ車/三菱車用)、N(日産車用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属の皿ネジ⑤で取り付けてください。

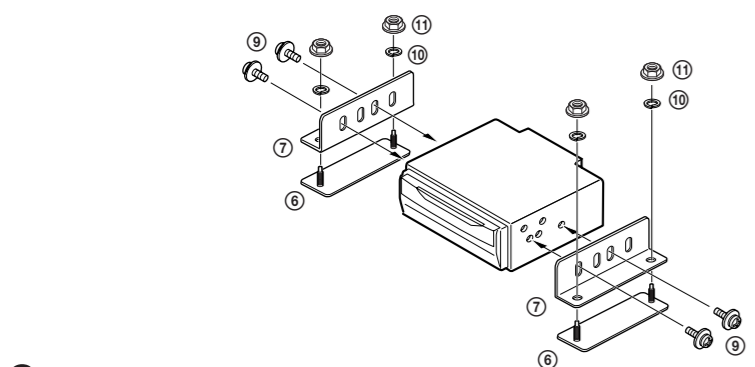


\*必ず付属の皿ネジ⑤で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因になります。

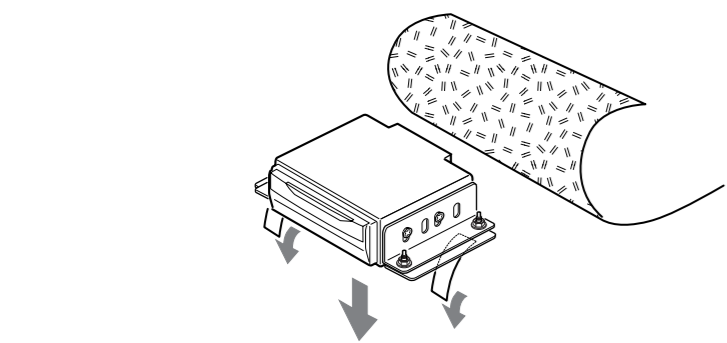
### 助手席の下やトランクルームなどに取り付ける場合

横置き位置で水平20°以内に、また、地図ディスクの出し入れが容易な所に取り付けてください。

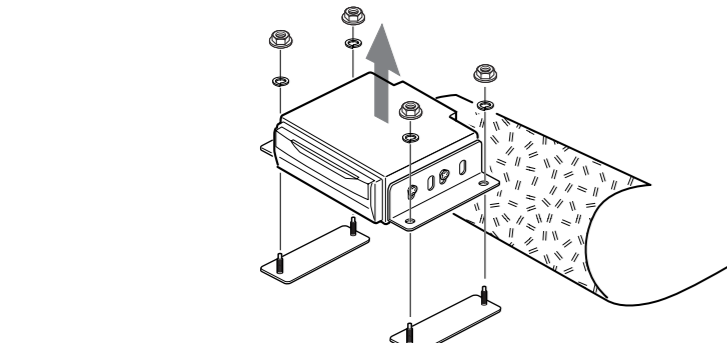
#### 1 地図ディスクプレーヤーに取り付け金具を仮止める。



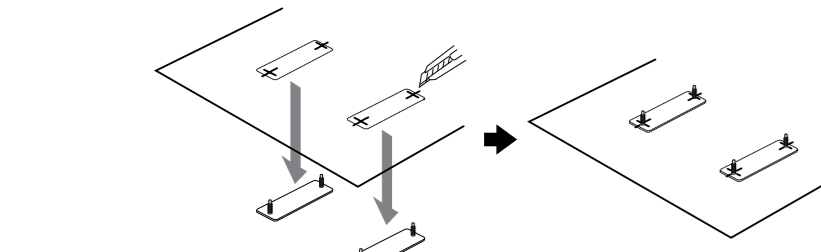
#### 2 カーベットを外して金具を固定する。



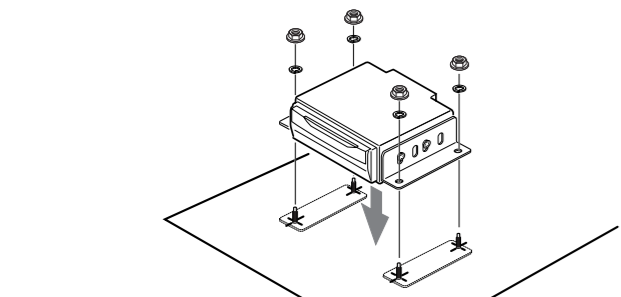
#### 3 地図ディスクプレーヤーを取り外す。



#### 4 カーベットに穴をあけてかぶせる。



#### 5 地図ディスクプレーヤーを固定する。

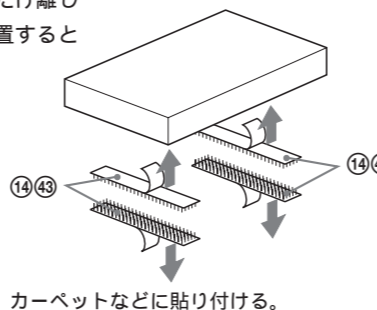


**ご注意**  
トランクルームに取り付ける場合は、付属の電源延長ケーブル⑬のかわりに別売りの電源延長ケーブルJRC-119P(5m)をお使いください。

## TVチューナーユニットとVICS対応FM多重ユニットの取り付け

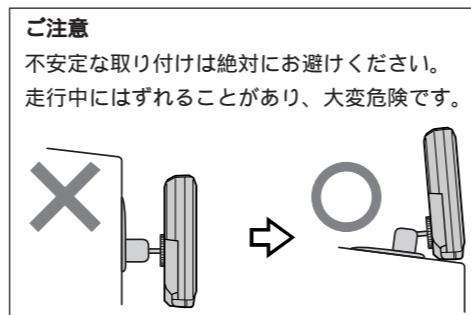
助手席の下などに取り付けてください。  
**ご注意**  
・直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところへの取り付けは避けてください。  
・ナビゲーションシステムと組み合わせてお使いになるときは、TVチューナーユニットと地図ディスクプレーヤーは、できるだけ離して設置してください。ナビゲーションシステムの近くに設置するとテレビ画面に影響が出る場合があります。

**マジックテープ⑭⑮でカーベットなどに取り付ける。**  
トランクルームに取り付ける際は、以下の別売り延長コードをご使用ください。  
・モニター延長コード RC-116M(4m)  
・電源接続コード RC-118P(5.5m)



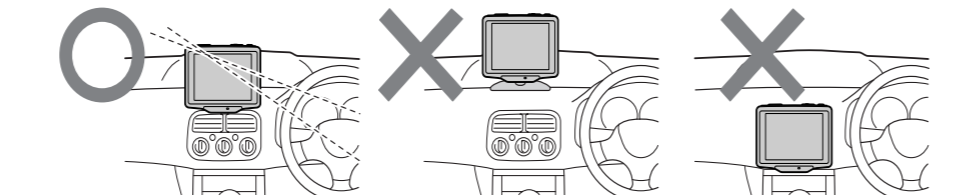
## モニターを取り付ける前に

本機のモニターは、安全性を重視して設計されており、正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。取り付けの前に、必ず下記事項の確認を行ってください。助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。



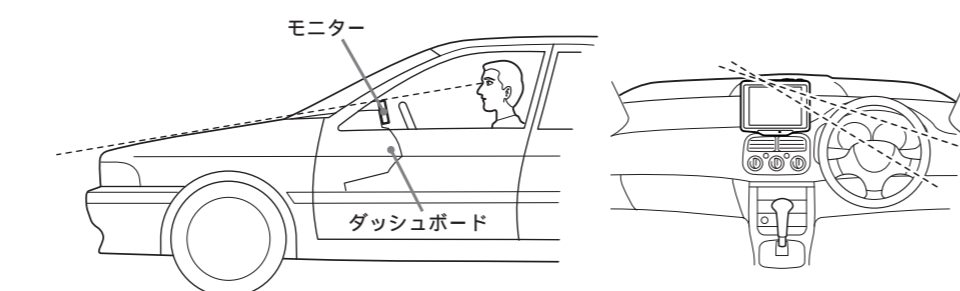
### 取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずすむように、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。



### 取り付け位置のポイント

- ・運転者から見たときに、モニターがボンネットの先端よりも上に出ない。
- ・極端に視線を下げる位置に設定しない。



### 取り付け例

車の振動などによるくづつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。

**ダッシュボードが曲面の場合**  
モニター底面をダッシュボードにあてて固定する。



**ダッシュボードが平面の場合**  
モニター底面をダッシュボードの平面にあてて固定する。

**「モニターを取り付ける前に」**の項目をご覧ください。  
**「モニターを取り付ける前に」**の項目をご覧ください。設置しようとする場所で正しい取り付けができることを確認してから取り付けを行ってください。

**1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド⑯を曲げる。**  
曲げすぎて、スタンドが浮かないようにご注意ください。

**2 クリーニングクロス⑱で取り付け面の汚れを取る。**

**3 両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける。**

**4 固定用ネジ⑲で固定する。**

**5 スタンドカバー⑲を接着する。**

**6 モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める。**  
車の振動によるくづつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。調節後はネジを締めて固定します。

**7 レバーをゆるめて角度を調節する。**  
調節後はレバーをしっかり締めて固定します。

## FMトランスミッターアンテナの取り付け

運転の妨げにならない場所に取り付けてください。  
コードは乗り降りの妨げにならないように処理してください。

**両面テープ⑲でシート側面などに取り付ける。**

**ご注意**  
・取り付けるときは、電源をOFFにしてから行ってください。  
・放送局の送信アンテナに近い場所や、車両のFMアンテナの位置によって、また、断熱ガラスを用いた車両では良好に受信できない場合があります。  
・出力はステレオです。

### 取り付けたら(動作確認について)

次の手順でカーオーディオからテレビの音声が聞こえることを確認してください。

- 1 モニターのPOWERスイッチを入れる。
- 2 FMチューナーの電源を入れる。
- 3 周波数合わせる。  
FMトランスミッター周波数切り換えスイッチで、設定した周波数(76.7MHzまたは78.7MHz)に合わせます。  
詳しくは、XTL-610用の取扱説明書の「カーオーディオで音声を聞く」をご覧ください。

## TVアンテナについて

### 取り付けの前に

- ・必ずリアウィンドウに取り付けてください。
- ・車のラジオ用アンテナや、パーソナル無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナから離して取り付けください。近くに設置すると、他のアンテナの影響を受ける場合があります。
- ・エレメントが車体より出ない所を選んでください。目に当たるなどして大変危険です。
- ・なるべく平らな部分に貼り付けてください。ガラス曲面がきついたり、はがれる危険があります。
- ・湿気の多いとき(雨、霧など)の高ときは、貼り付け面を十分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると、接着力が低下し、はがれる危険があります。
- ・取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、リアウィンドウデフォッガー、ドライヤーなどを利用して、温めてから貼り付けてください。
- ・アンテナの左右を確認して取り付けてください。

### 取り付けたら

- ・すぐに走行しても問題はありますが、24時間は水をかけたり、雨にあたり、無理な力を加えないでください。
- ・走行前に、確実に固定されていることを必ず確認してください。
- ・取り付け後は、取り付け状態を時々点検してください。
- ・自動洗濯機の使用は避けてください。
- ・アンテナ本体、エレメント、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン、ワックスなどで拭かないでください。(変形、破壊の原因になります。)

・次のような場所では、映りにくくなります。

- 1 ビルとビルの間
- 2 高圧線、送電線付近
- 3 飛行機が近くを飛んでいる場合
- 4 電車が近くを走行している場合
- 5 山中や放送局から遠い場所
- 6 トンネル内
- 7 ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナ付近

### 取り付けかた

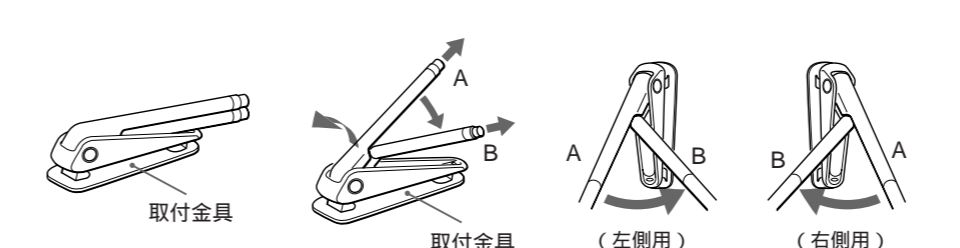
**1 付属の不織布⑳にクリーナー液㉑を染みこませ、貼り付け面に付着している油、ワックス、ほこりなどの汚れを拭きとる。クリーナー液が乾いたら水で洗い流し、乾いた布で乾拭きする。**

**2 アンテナから取り付け金具をはずし、貼り付け面に合わせて折り曲げる。**  
取り付け金具と貼り付け面の間にすき間がないことを確認してください。

**3 取り付け金具裏面のはくり紙をはがして貼り付ける。**  
接着面に手を触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。

### アンテナの使いかた

アンテナ本体を起こしてから、エレメントAおよびBの各段をいっばいいのばし、エレメントBを内側へ倒します。(取り付け場所によってはアンテナの性能が劣化する場合があります。)

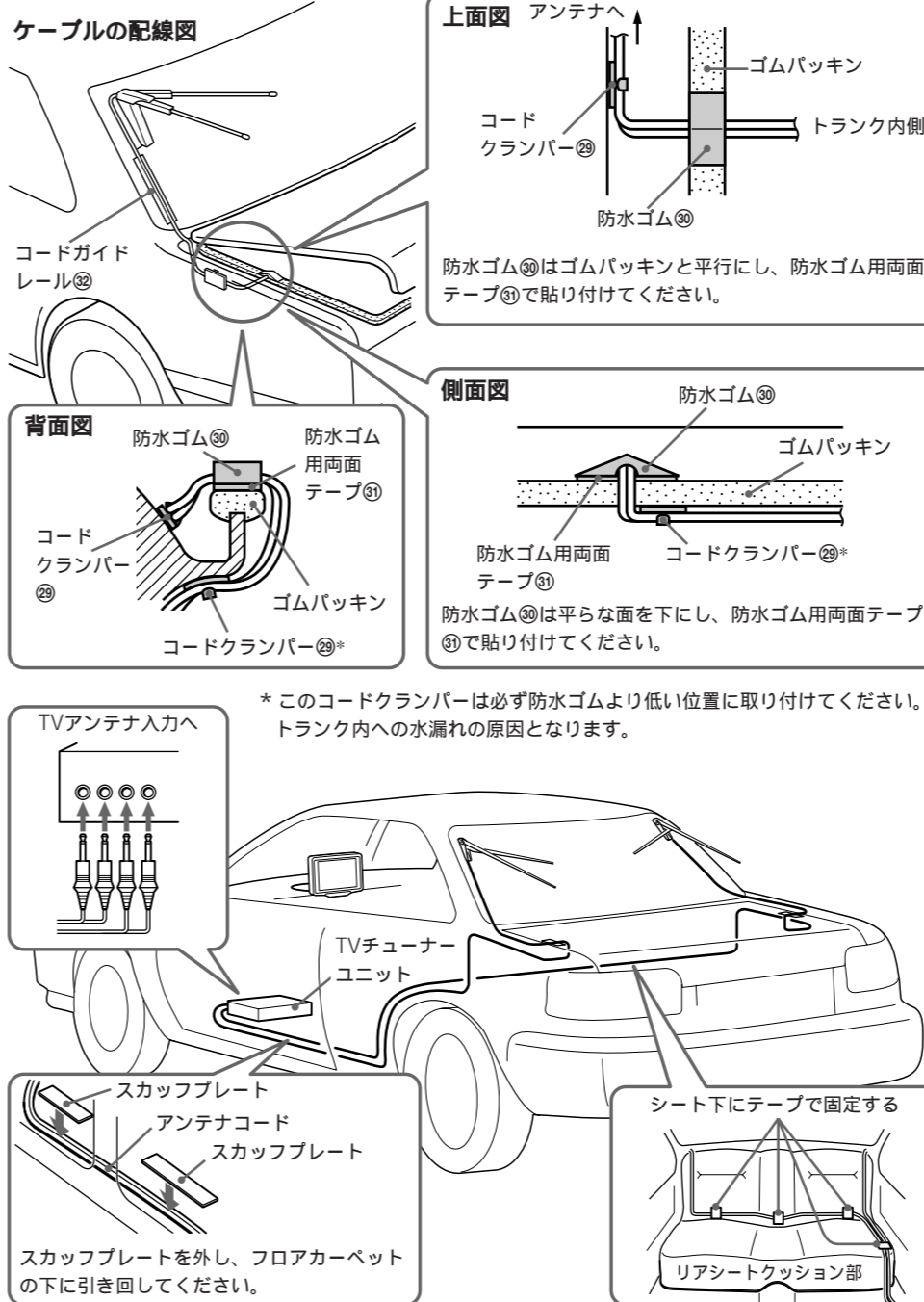


### アンテナコードの配線

**配線をする前に**

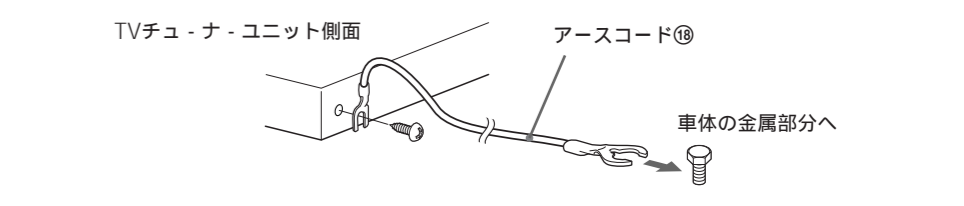
- ・アンテナコードの配線位置は、高熱部を避けてください。
- ・車の雑音を受ける場合がありますので、コードは車側の配線類から離して設置し、配線処理も確実に行ってください。

雨水などの侵入を防止するため、コードの車室内への配線には十分注意してください。



## ラジオ受信時の雑音を減らすには(一部車種)

FM/AMガラスアンテナを使用している車種では、付属のTVアンテナをお使いになると、ラジオ受信時に雑音が入ることがあります。その場合、下図のように付属のア・スコ⑳⑳で、TVチューナーユニットを車体の金属部分にア・スしてください。



## GPSアンテナの取り付け

### 車外に取り付ける場合

GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所(車のルーフやトランクリッドなど)に、水平に取り付けてください。  
GPSアンテナは磁石で取り付けます。取り付けるときは、ボディを傷付けないように静かに置いてください。  
**アルミやFRPボディの車に取り付ける場合**  
アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。

#### 1 トランクリッドなどの上に貼り付ける。

#### 2 トランクリッドの裏側に、クッションを取り付ける。

雨水がコードを伝わって車内へ侵入しないように、トランクリッドを開めたときに、ゴムパッキングの上にクッション⑳⑳が当たるように取り付けてください。

**ご注意**

- ・コードを車外でたるませたまにしないでください。
- ・コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランプ⑳⑳をご使用ください。
- ・取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- ・自動洗濯機で洗車するときは、アンテナを外してください。アンテナが外れて車のボディを傷付けることがあります。

### アンテナの塗装について

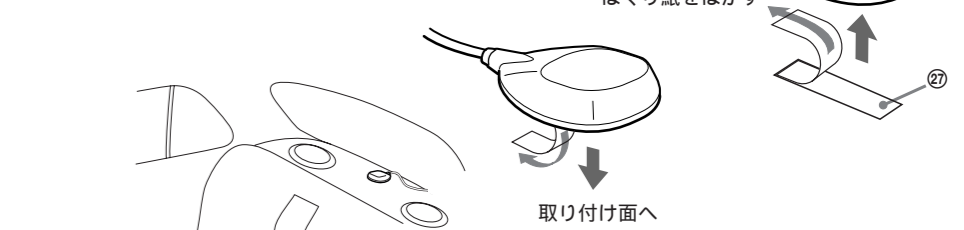
アンテナは車のボディカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗料(メタリック系の塗装など)は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときにはアンテナを分解しないでください。

### 車内に取り付ける場合

- ・リアトレイやダッシュボードに取り付けます。
- ・平らな位置に、アンテナが水平になるように取り付けください。
- ・できるだけ角度が大きくなるような場所に取り付けてください。また、GPS衛星からの電波を運るものがない場所を選んで取り付けてください。車内に通ずる場所がない場合は、車のトランクの上などに貼り付けてください。

#### 1 アンテナに両面シール⑳⑳を貼り付ける。

#### 2 はくり紙をはがして接着する。



**ご注意**  
一部のウィンドウガラス(フロント、リアとも)には、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、一度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

## リモコンの取り付け

シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。

**ご注意**  
次のような場所への取り付けは避けてください。  
・シフトレバーや、サイドブレーキなどの操作の妨げになること。  
・運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになること。  
・ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのあること。

**リモコンと受光部が向き合うように、両面テープで取り付け。**  
クリーニングクロス⑳⑳で、取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



**ご注意**  
直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなる場合があります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。

## 取り付けと接続が終わったら

### コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにかかると、非常に危険です。

#### 1 助手席側にコードクランプ⑳⑳で固定する。

**ご注意**

- ・ドアやシート下のレールにコードがかからないようにしてください。コードがはさまって断線するおそれがあります。
- ・ブレーキランプライト、ホーン、ウィンカーなど、すべての電装品が正しく動作することを確認してください。

**2 車のキーをACCまたはONの位置にして、地図ディスクプレーヤーのリセットボタンをボールペンの先などで押す。**

